

IPネットワーク対応通信用遠隔監視装置(IPCSV)

当社はモデム式(サイクリック伝送)の通信用遠隔監視装置(以下、CSV装置)を開発し、2000年度から中部電力(株)殿へ納入している。

近年、通信網のIPネットワーク化に伴いCSV装置についてもIP伝送への対応が必要となっている。中部電力(株)殿のCSV装置が設置される事業所では接点入力数が64ポジション以下の小規模事業所が多数占めている。

そこで当社は、接点入力数を64ポジションとすることにより、小規模事業所でコストメリットの得る安価なIPネットワーク対応通信用遠隔監視装置(以下、IPCSV装置)を開発した。

CSV (Communication SuperVision)

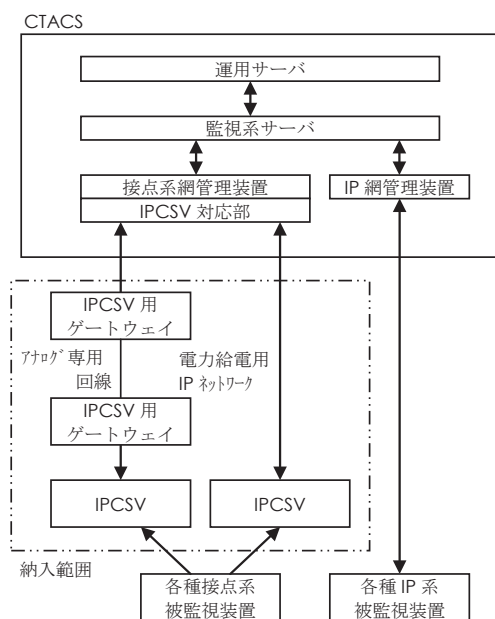
IPCSV (IP Communication SuperVision)

■ 概要

本装置は、各種接点系被監視装置の監視情報を収集し、電力給電用IPネットワーク等を用いて伝送し、上位の通信ネットワーク管理システム(以下、CTACS)へ接続する装置である。またアナログ専用回線においても専用ゲートウェイを介し、CTACSへ接続が可能である。

監視情報は最大64点に対応し、設定により選択した監視情報を上位装置のCTACSへ出力しない機能を有している。

CTACS(Chubudenryoku Telecommunication network Administration and Control System)



■ システム構成図

■ 特長

① メンテナンス機能

IP対応装置の本体の整定値変更を行う場合、汎用パソコンのWebブラウザを使用し整定値変更を行う手法が主流である。

本装置はWebブラウザを使用して整定値変更を可能としている。加えて本装置に搭載したメンテナンスコントローラを使用することにより整定値変更も可能とした。

また、本装置を通信装置収納ラック上部へ設置した場合、メンテナンスコントローラを使用しての整定値変更は作業性が悪いので、有線リモコン付きメンテナンスコントローラを開発し、オプション品として供給できる様にした。

② 供給電源対応

事業所から供給される電源はDC24Vの場合とDC48Vの場合があり、既設のCSV装置ではそれぞれ専用の電源基板を使い分けることで対応していた。

しかし、本装置ではDC24VとDC48Vに対応した電源基板を採用することで電源基板を1種類とし、装置の共有化を図った。

■ 主な仕様

項目	仕様
装置容量	電源系統 2系統受電 IPネットワークポート数 2ポート 接点入力数 64点
インターフェース	対CTACS プロトコル TCP/IP、UDP/IP 伝送速度 100 Mbps 通信回線 IP回線 アクセス方式 CSMA/CD 全二重
	対接点系被監視装置 通信回線 接点入力 入力条件 無電圧接点信号 接点容量 DC30V、50mA以下 動作速度 ループ変動より50msec以内
メンテナンス機能	◆メンテナンスコントローラを使用した整定機能 ◆有線リモコン付きメンテナンスコントローラを使用した整定機能(オプション) ◆汎用パソコンのWebブラウザを使用した整定機能
供給電源	DC24V、DC48V
寸法	幅 430 mm
	高さ 149 mm
	奥行 298 mm
質量	10 kg



■ 装置外観